

2014年10月15日

「CDP気候変動2014」気候変動情報開示先進企業に 2年連続日本企業トップのスコアで選定

住友林業株式会社（社長：市川 晃 所在地：東京都千代田区）は、気候変動情報開示において、CDP※¹から高い評価を受け、CDPジャパン500クライメート・ディスクロージャー・リーダーシップ・インデックス（以下、CDLI）に2年連続最高得点で選定されましたのでお知らせ致します。さらに、今回は日本企業で初めて満点の100点を獲得しています。



CDPはFTSEジャパンインデックス※²該当企業を基本とする日本の大手企業500社（以下、ジャパン500）を対象に気候変動に関する情報開示を求める調査を毎年実施しており、回答企業のうち、上位10%を気候変動情報開示先進企業としてCDLIに選定しています。

本日（10月15日）、経団連会館（東京都千代田区）にて「CDP2014日本報告会」が開催され、当社はCDLI代表企業としてスピーチを行いました。登壇した取締役常務執行役員（環境経営推進担当）佐藤建は、その中で、再生可能な木や森の持つ価値を余すことなく引き出すことのできる「世界一の森林会社」を目指すというビジョンを述べ、現在当社が取り組んでいるインドネシアでの自主的なカーボン・オフセット活動や国内でのバイオマス発電事業を紹介しました。



「CDP2014日本報告会」で登壇した
取締役常務執行役員 佐藤 建

これからも「住友林業グループは、再生可能で人と地球に優しい自然素材である「木」を活かし、「住生活」に関するあらゆるサービスを通じて、豊かな社会の実現に貢献します。」という経営理念のもと、役員をはじめ社員が一丸となって事業を通じた環境の維持・改善に取り組んでまいります。

※1 CDPについて

CDPは、企業や都市の重要な環境情報を測定、開示、管理し、共有するための唯一のグローバルなシステムを提供する国際的な非営利団体です。CDPは、企業が環境や天然資源に及ぼす影響を開示するように、またその影響を軽減する対策を取るように、合計92兆米ドルの資産を持つ767の機関投資家を含む市場経済とともに働きかけています。CDPは現在、気候変動、水、森林に関するリスク商品情報のグローバル最大の一次データを有しており、これらの知見をビジネス、投資、政策の戦略的な意思決定の場に提供していきます。

Webサイト：www.cdp.net / ツイッター：@CDP

※2 FTSEジャパンインデックスについて

ロンドン証券取引所が100%出資するインデックス構築企業FTSE社が提供する、世界的に信頼性の高い外国株式インデックスの日本版です。

以上

《リリースに関するお問い合わせ先》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 石原・飯塚

TEL：03-3214-2270

